

# 『振りわけ』の甘言・恫喝による『脱退』強要許すな

## 原則死守-鉄の団結で勝利の道きいひらこう



87. 1. 10  
No. 2449

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五〜六（公衆）〇四七二二二七二〇七

### 1/8 才四回 支部代表者会議閉る

動労千葉は、一月六日、第十回執行委員会を開催し、「意思確認書」の個人配布をもって差別―選別攻撃が最終段階に入り、組織破壊攻撃が熾烈化する一二月の闘いを組織の存亡をかけ、組織強化・拡大の最大の決戦として闘いぬく取り組みについて意志統一をはかり、八日の第四回支部代表者会議で次のとおり伝達した。

危機にあえぐ中曾根を

「国鉄」でぶち倒してやろう

昨十二月末に提出された「六二年度予算」政府原案で明らかとなり、中曾根内閣は、福祉切り捨て、国債依存などの超緊縮予算のなかで、軍事費は国民総生産（GNP）「一％」突破、その一方で大型間接税Ⅱ「売上税」導入、マル優廃止による増税を低所得者層に押しつけ、体制的危機を深め、労働者の首切り、失業の急増、賃金の抑制という事態がすすんでいる。八七年は、労働者に過酷なまでの攻撃がかかってくる。そのために国鉄労働運動を完全にたたきつぶす攻撃もまた一層凶暴化してくる。

分割・民営化攻撃が国鉄の労働組合を解体つくすこと一点に狙いをしほってかけられてきた。戦後、労働者が培ってきた権利を奪いと、一掃することが中曾根の「戦後政治の総決算」であり、その中心軸に国鉄労働運動解体が据えられているのだ。

原則死守―鉄の団結こそ

勝利への道

いま国鉄においては「意思確認書」の個人配布をもって差別・選別攻撃は最終段階に突入している。

「意思確認書」は、各会社などへの進路希望のみ記入するだけで、各人がどの

職名で勤務するのかすら明らかにされていない。当局は、動労・鉄労などの「御用組合」との間で、好き勝手に、都合よく職員を振りわけようとしているのだ。

労働者の権利や要求の一片も認めないやり方にして黙って従えようか。何せよりも重要なことは、これからも原則を守り闘いぬくことによって、分割・民営化攻撃の反動性・破壊性をあばきつくし中曾根の超反動性を断罪し、「新会社、清算事業団」の反動体制をうち破って労働者の権利と闘いを不屈・非妥協に築きあげていく闘いをどこまでもしぶとくおし進めていくことである。

当局・裏切り者の組織破壊攻撃を断じて許さないぞ！

すさまじい組合つぶしにも屈せず、いままもって分割・民営化反対の旗を掲げた十万国鉄労働者が健在している。

国鉄当局は、あらゆる卑劣な手段を用いてでも、そこからの「脱退」をすすめ組織をつぶそうとしている。それは「組合を脱退すれば残れる」などの甘言をろうして「直営売店」に応募させ、そのうえで「脱退」強要してきている。

われわれは、動労千葉をつぶそうとする輩や、この期におよんで自分だけの生き残りのために仲間を売り渡そうとする裏切り者は断じて許しはしない。

われわれは、当面する一二月の闘いを文字通りの決戦として闘いぬくことを宣言する。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ